

令和4年9月22日

## 新之助の胴割れの発生状況と収穫・乾燥・調製の対応について

- ◎ 新之助は移植時期の早晩に関わらず、9月第3半旬の高温・多日射量・無降雨及び台風第14号のフェーン現象の影響により、籾の黄化が進んでいない割には籾水分が低い状況です。
- ◎ 8月15日頃までに出穂したほ場によっては、フェーン現象の最中に、胴割粒が多発する籾水分22%未満まで低下した可能性があります。
- ◎ 本年の新之助は、胴割粒の発生が多めの年次と推察されることから、ほ場ごとに籾水分を確認し、22%を下回る場合は出穂期後積算気温900℃、籾黄化率80～85%を収穫始期のめやすとし、通常より早めの収穫、ていねいな乾燥・調製を基本に対応し、品質を確保してください。

### 1 9月中旬の気象（表1、農総研・長岡市）

- 9月の第3～4半旬にかけては、平年に比べ、気温は高く、日射量は多く、降水量は極端に少なく、籾水分が急激に低下する気象でした。
- 新之助においては、台風第14号のフェーン現象により9月17～19日にかけて胴割粒発生の危険水準を超える乾燥状態（飽差6g/m<sup>3</sup>以上）が生じました。

表1 令和4年9月の気象状況（農総研気象観測装置）

日	台風の 影響	平均気温 (℃)	平年差	全天日射 積算 (MJ/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	湿度 (%)	飽差 (g/m <sup>3</sup> )	降水量 (mm)	平年比 (%)
11		24.7		22.0		76	5.4	0	
12		25.7		20.5		76	5.7	0	
13		26.0		18.3		81	4.6	0	
14		24.8		22.0		77	5.2	0	
15		23.4		12.5		84	3.4	0	
第3半旬別		24.9	+2.3	95.2	156	-	-	0	0
16		25.0		16.5		81	4.4	0	
17	フェーン	25.7		21.0		70	7.2	0	
18	フェーン	27.1		11.2		75	6.5	0	
19	フェーン	30.0		17.4		64	10.9	0	
20		20.4		2.6		81	3.4	33	
第4半旬別		25.6	+3.9	68.8	119	-	-	33	97

### 2 新之助の登熟状況と胴割粒の発生状況

#### (1) 籾水分の低下と黄化状況（表2）

本年は、籾水分が低下しているわりに、籾の黄化が遅れている傾向です。

#### (2) 作期試験の胴割粒の発生状況

- 5月2日の早期移植では、出穂後積算気温が1,100℃に達し、新之助の収穫適期めやす1,050℃を少し過ぎましたが、籾の状態は水分20.6%と低く、籾黄化率85%、胴割粒率は6%となっています。
- 5月11日の標準移植では、出穂後積算気温が1,000℃で、収穫適期めやす前でしたが、籾の状態は水分21.5%まで低下し、籾黄化率76%、胴割粒率は3%となっています。

表2 新之助の出穂後の積算気温と籾の水分・黄化程度(令4年・作物研究センター)

試験区	田植日 (月/日)	出穂期 (月/日)	出穂後 積算気温 (°C)	籾水分 (%)	籾黄色 化率(%)
作期試験	5/2	8/8	800	27.5	37
		8/8	900	27.2	74
		8/8	1000	23.3	83
		8/8	1100	20.6	85
	5/11	8/11	800	27.1	62
		8/11	900	24.3	67
		8/11	1000	21.5	76
	5/20	8/17	800	25.2	57
気象感応試験	5/11	8/14	900	21.4	74

(3) 気象感応試験の胴割粒の発生状況(表3)

- 5月11日の標準移植で、出穂後積算気温は900°Cと、収穫適期めやす前でしたが、籾の状態は水分21.4%まで低下し、籾黄化率は74%とやや低く、軽度の立毛胴割れを含む胴割粒率は13%で、今後胴割の発生が増加することが推察されます。

表3 令和4年度 新之助の出穂後の積算気温と登熟状況、胴割粒の発生状況

試験区	移植日 (月/日)	出穂期 (月/日)	出穂後 積算気温 (°C)	サンプル 採取日 (月/日)	出穂後 日数 (月/日)	籾水分 (%)	籾黄色 化率(%)	胴割 粒率 (%)	青未 熟粒 (%)
作期試験	5/2	8/8	1,100	9/20	43	20.6	85	6	1
	5/11	8/11	1,000	9/20	40	21.5	76	3	2
	5/20	8/17	800	9/19	33	25.2	57	-	-
気象感応試験	5/11	8/14	900	9/20	37	21.4	74	13	3

注. 気象感応試験は、軽度の胴割粒を含むため、数値が高い。

(4) 胴割粒の年次推移(図1)

- 本年は、胴割粒の発生が多めと推察される。

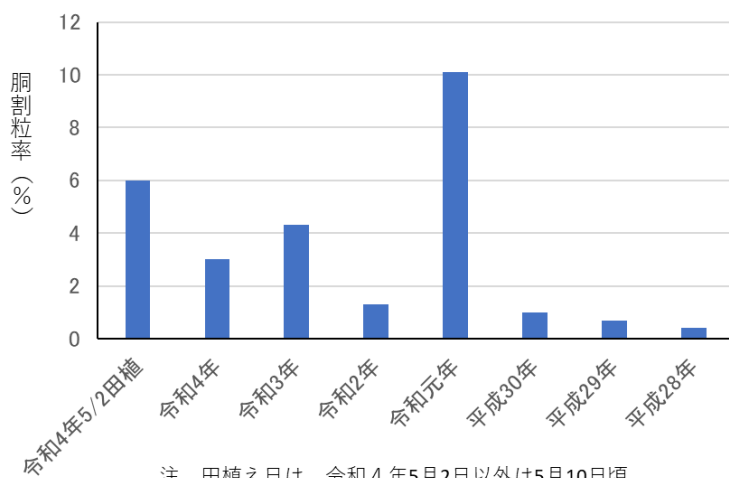


図1 新之助の胴割粒の年次別推移(作物研)

【担当: 経営普及課 副参事(農業革新支援担当) 田村 良浩 TEL 0258-35-0813】